

消費者だより

2023年8月号

扇風機やエアコンの発火事故に注意しましょう！

扇風機とエアコンは、暑い夏を乗り切るための必需品ですが、使い方の誤りやメンテナンス不足による発煙や発火事故が発生しています。日頃から製品に異常がないかチェックし、安全に使用して熱中症を予防しましょう。

■事件事例

扇風機

- ・40年近く前に製造された扇風機を使用中、異臭がし、煙が出た
- ・10年以上前に購入した製品を使用しているとモーター部分から発火した

エアコン

- ・延長コードで使用中に、差込部分から発火してカーテンが燃えた
- ・30年以上前に購入したエアコンを使用中に、送風口から黒煙が出て、その後下部から発火した

■気をつけるポイント

- ・長期使用により内部配線が折り曲げられて断線したり、内部の電気部品の劣化が原因で発火することがあります。スイッチを入れても羽が回らない、回転が不規則、異常な音・においがする、モーター部が異常に熱いなどの場合は注意が必要です
- ・エアコンは消費電力が大きいので、延長コードにつなぐと定格消費電力を超え、発熱・発火の可能性がります。プラグは、専用のコンセントに直接つなぎましょう。また、室外機にほこりや小動物が侵入することで、ショートして発火することがあります。室外機の周りは、物を置かずにきれいにしておきましょう
- ・冷房器具や家電製品にも寿命があります。10年以上使用している製品は点検し、不具合があったら、すぐに使用を中止して、販売店やメーカーに相談しましょう

困ったことがあれば、消費生活センターへ相談してください。



千代田区消費生活センター

☎ 03-5211-4314(相談専用)

月曜日～金曜日 9時00分～16時30分

(祝日、年末年始を除く)